

五、監視隊、豫備隊、下ノ間ニ迅速確實ナル通報手段ヲ設置ス

問 右ノ方法ニ基ケル混成旅團ノ防禦配備及ヒ處置如何

答 第一、工兵中隊長ニ根小屋村ノ北部ヨリ舊昆沙吐村間ノ烏川ニ現存スル渡河ノ諸材料ヲ破壊或ハ放流スヘキヲ命ス

但シ成ルヘク午前十時三十分迄ニ終ルヘキヲ要ス

注意 工兵中隊長ハ其隊ヲ三分シ翌朝成ルヘク速ニ出發セシメ其一部ヲシテ根小屋ノ北部ヨリ倉賀野ノ下流ニ於テ渡河ノ材料ヲ破壊シ或ハ其一部ヲ鑄川ニ移サシム

他ノ一部ヲシテ鐵道橋及岩鼻ニ於テ橋梁ヲ破壊シ及ヒ渡舟等ヲ破壊セシム又其一部ヲシテ猪野川合流點ヨリ下流ニ於ケル渡河材料ヲ放流或ハ破壊セシム

第二、河岸監視隊左ノ如シ

一、步兵一中隊ニ騎兵一分隊ヲ附シ舊昆沙吐村ニ

二、步兵一小隊ニ騎兵三騎ヲ附シ立石新田村ニ

三、步兵一大隊(一中隊)砲兵第五中隊騎兵一分隊ヲ附シ中島村ニ(森新

田モ共ニ)

四、步兵一中隊ニ砲兵第六中隊騎兵一分隊ヲ附シ阿久津村ニ

五、步兵一中隊ニ騎兵四騎ヲ附シ根小屋村ニ

六、山名村ノ八幡祠ニ將校ヲ派遣シテ展望哨所ヲ設ケ手旗信號晝間

ニ依テ通信ス

七、騎兵ノ主力ハ尙佐野窪方向ヨリ敵ヲ搜索シ尙上流ノ監視ニ任シ

其一部ハ玉村方向ニ在テ駒形方向ノ搜索ニ任ス

八、爾餘ハ豫備トナリ上栗栖附近ニ在リ

九、工兵ハ作業終ラハ各其方面ニ於ケル通信ノ設備ヲ爲ス特ニ夜間ノ爲メ回光通信(四乃至八吉米ニ達ス)等ノ方法ヲ爲サシム

注意 此場合ハ豫備隊、監視隊、下ノ距離概テ四乃至六吉米ナルヲ

以テ逃騎ノ要ヲ認メサルヘシ

情況 三月廿五日午前八時三十分ヨリ九時ノ間ニ於テ監視隊ハ各其位置ニ就キ配備ヲ始メタリ工兵ハ尙作業中ナリ騎兵ノ主力ハ新後閑村附近ニ在リ

北軍想定

東京ニ進入セントシテ高崎附近ニ進出シタル北軍ノ微弱ナル師團ハ三月廿四日遅ク其歩兵ノ先頭ヲ以テ金古驛及ヒ前橋附近ニ達シ其主力ハ南下村ト澁川ノ間ニ在リ此夜師團長ハ約混成一旅團ノ敵藤岡附近ニ達シタルノ報ニ接シ先ツ之ヲ擊破シタル後南進スルコトニ決シタリ

師團ノ兵力

師團司令部

歩兵第一旅團

歩兵第二旅團(第四聯隊欠)

騎兵第一聯隊(二中隊ト二小隊)

野戰砲兵第一聯隊及同第十三聯隊ノ一中隊

工兵第一大隊(二中隊)

衛生隊一分

架橋縱列(一小隊欠)

其他ノ輜重縱列

情况 三月廿五日午前七時ノ頃我騎兵ノ主力ハ高崎ノ東北部ニ於テ敵ノ騎兵ヲ擊退シ下之城村附近ニ達シ又前橋ヨリ前進シタル騎兵ノ一部ハ玉村方向ニ前進セリ

午前八時三十分前衛ノ先頭ハ飯塚村ニ達シ師團本隊ノ先頭ハ金古驛ノ南端ニ達シタルトキ師團長ハ左ノ報告ニ接ス

報告 二十五日午前七時十五分
高崎東下方之城村ニ於テ

一當聯隊ハ敵騎約百餘騎ヲ高崎ノ東方ニ於テ擊退シ今之城村ニ達セリ此敵ハ佐野窪南方ノ假橋梁ヲ爆發シテ烏川ノ右岸ニ退却セリ

當隊ハ今日ヨリ岩鼻ニ向テ前進シ同時ニ佐野窪以南ニ於テ烏川

騎兵中佐何某

午前九時左側支隊(步兵一大隊騎兵一小中野砲一中隊工兵一小隊)ハ上佐島横手村ヲ經テ中島村ニ達シ前衛ハ高崎ヨリ東進シ本隊ハ此時高崎ノ北端ニ達ス
同十時前衛ハ下中居村ニ達シタルトキ騎兵ノ報告ニ依リ左ノ事ヲ知ル

根小屋北方倉賀野ノ南方及鐵道橋並ニ岩鼻橋梁ノ附近ニ於テ敵ハ彼岸ヲ占領シ又臺新田及柴崎村附近ヲ占領セリ

同十一時前衛ハ一部隊ヲ倉賀野及岩鼻町ヲ占領セシメタリ
本隊ハ步兵ノ一部隊ヲ倉賀野驛正六ニ派遣シ其他ハ矢中驛ニ開進セ

ントス此時迄ニ得タル報告ニ依レバ敵ハ宇貫及角淵南方ノ渡場ヲ其南岸ニ於テ占領シ又我左側支隊ハ既ニ下齊田村附近ニ達セルヲ知ル

師團長ハ之ヨリ烏川ヲ渡過シテ其右岸ニ在ル敵ヲ攻撃セントス

問 河線ニ於ケル攻者ノ利及其要領ハ如何

答 今日以後ニ於ケル有効ノ銃砲火ノ下ニ在テスル強行通過ハ既ニ成効ノ望無キヲ知レリ故ニ此攻撃法ハ遠距離ノ大迂回ヲ以テ渡河ヲ實施シ或ハ虛擊ニ依テ敵ヲ欺騙シ其不意ニ出ルニアリ其特種ナル利益ハ敵ヲ不意ニ襲撃スルコトニアルト其攻撃點ノ撰定他ノ戰法ニ比スレハ甚タ自在ナルニアリ

問 渡過點ノ撰定ニ關スル要件ハ如何

答 橋梁架設ノ點ハ左ノ件ヲ備フルヲ要ス

- 一、隱蔽シテ架橋スルタメ掩蔽ノ河岸
- 二、架橋ノ迅速且容易ナルタメ堅固ノ河底、緩斜ノ河岸、河幅ノ狹少、淺底、島嶼アル點、古渡場等
- 三、軍隊ヲ彼岸ニ渡シ架橋作業ヲ警戒シ得ルコト即チ架橋點前方ニ

掩蔽及支點ヲ得ルコト

此岸ヨリ彼岸ヲ制下シ得ルコト

四、迅速ニ軍隊ヲ彼岸ニ展開シ得ルコト

問 渡河ノ實施ハ如何

答 不意ニ渡河センカ爲メ先ツ他點ニ於テ架橋ヲ陽示シ敵ヲ欺騙シ

其兵力ヲ無用ノ方向ニ誘致スヘシ

架橋作業ハ多クハ夜間ニ始リ拂曉ニ竣功スル如ク開始スルモノトス

起工前若ハ工事中ニ橋船或ハ小舟等ヲ以テ彼岸ニ軍隊ニ渡シ之ヲシテ作業ヲ掩護セシム此軍隊ハ彼岸ニ於テ陣地ヲ占ム而シテ此岸ハ散兵及砲兵ヲ以テ強大ニ守備スヘシ

橋梁ノ架設ハ架橋輜重ノ補助ニ依リ工兵ノ擔任スル所トス
諸種兵ヨリ成ル前衛ハ第一ノ渡河ヲ開キ本隊ノ渡河及展開ヲ掩護

右ノ研究ハ一般ニ於ケル原則ニシテ孰レノ狀況地形ニ於テモ悉ク利用シ得ルモノニ非ス唯標準ヲ之ニ取ルニ在リ

問 此場合北軍師團長ハ如何ニ渡河ヲ實施セントスルヤ

答 岩鼻方面特ニ角淵村方向ニ於テ陽架橋ヲ實施シ主力ヲ根小屋村

ノ北部ヨリ渡河セシメントス

右ニ依リ次ノ處置ヲナス

一、騎兵ノ主力ハ本日ヨリ沼之上及其以南ヲ搜索セシメ一部ハ下瀬ノ方向ニ差遣ス

二、左側支隊ニ架橋縦列一小隊ヲ附シ角淵村ヲ占領シテ本日ヨリ架橋ヲ準備シ明朝渡河シテ新町驛ニ向ヒ前進セシム

三、步兵聯隊長ニ其一大隊騎兵三分隊野砲一中隊工兵一中隊(一小隊)

ヲ附シ岩鼻方面ニ於テ彼等ニ渡河セシムトテ圖ラシム但シ此

蓋シ工兵中隊ハ鐵道橋及柳瀬橋ヲ修理スルコトヲ圖ルナラム

四、步兵一中隊ヲシテ倉賀野附近ヲ占領シ時々渡舟ニ依テ阿久津村

ニ向ヒ渡河シ同村ノ占領ヲ勉メシム

五、步兵一小隊ヲシテ根小屋ノ北方ヲ占領セシメ砲兵大隊長ニ隱蔽シテ偵察ヲ實施セシム夜ニ至リ架橋縦列(一小隊)ヲ下佐野村ニ送

ル

六、新前衛ハ成ルヘク拂曉ヲ以テ下佐野ニ達シ本隊モ亦下之城村ヲ經テ前進セシム但シ架橋掩護隊ハ明拂曉前ニ於テ佐野窪方向ヨ

リ根小屋村ニ達ス

情況 左側支隊ハ廿五日夜刻ヨリ材料ヲ集メテ架橋ヲ準備シ岩鼻ニ在ル支隊モ亦地方材料ヲ聚集シ夜ニ入リテ架橋ノ準備ヲナス

此兩方面ニ於テ夜間彼我ノ射撃ヲ字字貫及鐵道橋附近ニ於テ支隊

ハ復ヲ急造シテ渡河ヲ企ントシ倉賀野南方ニ於テモ亦銃聲アリ
午後六時稍前ニ於テ騎兵約一中隊ハ寺尾村東方ニ達セリ二十六日午
前三時ヨリ鐵道橋及橋梁修理ノ作業ヲ始メ爲ニ器具使用ノ響アリ又
舊昆沙吐村ノ下流ニ於テハ彼岸ニ定式材料ヲ運搬シ工事ヲ始メタリ
倉賀野村附近ニ在テハ未タ銃聲無シ
午前四時根小屋ノ北方ニ在テハ架橋ヲ始メタリ之ヨリ稍前ニ於テ歩
兵約三中隊修理セラントル佐野窪南方ノ假橋梁ヲ前後相續テ根小屋
村ニ達シ此附近ノ敵ヲ驅逐セリ
午前五時南軍旅團長ハ左ノ報告ニ接ス
其要旨

岩鼻方向ヨリ

敵ハ二橋梁ヲ修理シテ渡河ヲ企ツルモノアルカ如シ

同五時十分舊昆沙吐村方向ヨリ

同五時十分舊昆沙吐村方向ヨリ
如シ而シテ其材料ハ定式ノ材料ヲ有ス

同時根小屋ヨリ

下佐野附近ノ敵ハ昨夜來ヨリ稍増加セル模様ナリ午前四時敵ノ歩
兵約二中隊ハ寺尾村ヨリ前進シ來リ中隊ハ之ト戰鬥シタル後山名
村ノ北部ニ退却セリ

同六時岩鼻町橋梁附近ニテ敵ハ盛ナル工事ヲ始メ而シテ彼岸ニハ約
二中隊ノ歩兵ヲ配備シ熾ニ射撃ヲ始メ又岩鼻町東方ニ於テ砲聲起ル
舊昆沙吐村南方ニ於テモ敵ハ既ニ架橋ヲ始メ本道ノ南方ニ約歩兵一
中隊ヲ散開シ又一中隊ハ島嶼ノ下流ノ桑畑ヲ占領シ又一中隊ハ角淵
村南端ノ部落ヲ占領セリ砲兵一中隊ハ同村西南部落ノ西畑地ニ布列
シテ砲撃ヲ始メタリ

同六時五分右ノ情報ハ旅團長ニ達ス

同日二十五分阿久津村ヨリ報告

野及其西方ノ敵ハ増加セリ而シテ其西方ニ砲兵ヲ布列セルカ
如シ又根小屋ノ北方ニ於テハ敵ハ架橋ノ實施中ナリ

森新田村東方ノ中隊長ヨリ

中隊ハ射撃ヲ以テ岩鼻南方ノ橋梁ヲ修理セル敵ノ作業ヲ妨害中岩
鼻ノ西方ニ現ハレタル敵ノ砲兵ト對戰セリ次テ鐵道橋ノ北ニモ砲
兵現ハレ專ラ中島村方向ニ在ル我歩兵ヲ砲撃ス

故ニ此中島ニ在ル歩兵中隊ハ頭ヲ擧ケテ射撃スルコト能ハス茲ニ於
テ敵ノ砲兵ニ中隊ハ再ヒ我砲兵中隊ヲ砲撃セリ之ニ依テ鐵道橋及岩

鼻橋梁ハ歩砲兵隊助
困難ヲ犯シテ修理中ナリ

南軍旅團長ハ程ヲ右ノ情況ヲ知ル

據置

歩兵大隊ヲ舊昆沙吐村及中島方向ニ差遣スルナラン

同時山名村ハ幡祠ノ高地ナル將校ヨリ根小屋村ニ少クモ約ニ大隊ノ
敵ノ歩兵アリ同村北方ノ敵ノ架橋ハ其過半ヲ成功シ而シテ下佐野附
近ニ數多ノ敵ノ兵團アリ又倉賀野ノ西方ニ數中隊ノ敵ノ放列ヲ認

問 旅團長ノ決心

答 旅團ノ主力ヲ以テ速ニ山名村ニ前進セントス

旅團ノ山名村ニ到着シ根小屋村ヲ敵ヲ攻撃スル頃ニハ距離ノ關
係及砲撃ノ必要止根小屋ニ在ル花軍ノ歩兵ニ大隊ハ三又路ニ到達シ
架橋ヲ亦...

明治三十六年八月廿五日印刷
明治三十六年八月三十日發行

不許
複製

著作者

外山氏

發行者

不動慶藏

印刷者

石井要藏

印刷所

東京市神田區三河町一丁目十四番地
合資會社丸利商會

發行所

東京市四谷區市ヶ谷片町三十四番地
不動慶藏

發賣所

東京市牛込區市ヶ谷八幡町二番地
有則軒

同

東京市京橋區大鋸町八番地
武揚堂

正價金參拾錢



